

令和6年度 勝田第一中学区市政懇談会

日時：令和6年7月6日（土） 10：00～11：30

場所：一中地区コミュニティセンター

令和6年度 勝田第一中学区市政懇談会 .....	1
<b>【事前質問】 なし .....</b>	<b>1</b>
<b>【懇談内容】 .....</b>	<b>1</b>
1 中丸川調節池整備に伴う傾斜地の伐採について（大成町自治会） .....	2
（建設部長回答） .....	2
（市長回答） .....	2
（要望） .....	2
2 高齢者施設の増設について（大成町自治会） .....	3
（保健福祉部長回答） .....	3
（市長回答） .....	3
3 高齢化等に伴う東中根団地の諸課題及び再生について（東中根団地自治会） ....	4
（市長回答） .....	4
（市民生活部長） .....	4
4 十五郎穴横穴群の今後の動向について（中根自治会） .....	5
（教育部長回答） .....	5
（市長回答） .....	5
5 道路の補修について（大成町自治会） .....	6
（建設部長回答） .....	6
6 自治会加入率の促進について（長松自治会） .....	7
（市民生活部長回答） .....	7
（市長回答） .....	8
（要望） .....	8
7 自治会加入率の促進について（一中地区地域のふれあいを広める会） .....	9
（市民生活部長回答） .....	9
8 自治会加入率の促進について（青葉・石川自治会） .....	9
（市民生活部長回答） .....	10
（市長のまとめ） .....	11

**【事前質問】 なし**

**【懇談内容】**

## 1 中丸川調節池整備に伴う傾斜地の伐採について（大成町自治会）

中丸側の河川敷事業の工事について、県の事業であることは承知しているが、今現在、法面の樹木が伐採されて、コンクリートの吹き付け作業がかなりなされている状態になってきている。

大成町側は民家が法面に迫っているが、大成町側も一部測量するために、木が根こそぎ伐採されて、崖のようになってしまった。測量後もコンクリートの吹き付けがなされておらず、転落防止のために緊急で囲いをつけてもらったが、子どもたちが落ちたら危険である。この地域では約30年前に長堀小学校側で大規模な土砂崩れがあり、その教訓から法面を保護するために、安易に樹木を伐採しないように慎重にというような話もあったようである。

この件については、慎重に対応に当たるべきであると思うが、市ではどのように考えているのか。

### （建設部長回答）

中丸川の多目的調整池の整備は県の方で進めておりますが、必要に応じて、周辺の樹木の伐採、測量の方も合わせて進めさせていただいているところでございます。これらについては、事業を進めていく中で必要な作業でございますので、ご理解をいただいているところですが、急に樹木を伐採されてしまうと、法面の保護などご心配になるかと思えます。基本的には樹木の伐採をしても、伐根はしておりませんので、急に法面が崩れていくとかそういった心配はないかと思えます。

しかし、安全性とかそういう面でご不安な面があると思えますので、そちらについては県の方と協議をいたしまして、地域の方の方に再度きちんとご説明をする機会があれば、お伺いしてご説明したいと思えます。ご理解ご協力をお願いしたいと思えます。

### （市長回答）

ありがとうございます。県の事業ということではありますが、市の方も今どういう状況になっているのか、地域の方々への情報提供がどのようになっているのかということ河川課を通じてしっかり伝えて、情報提供ができるようにしていきたいと思えます。市の方からも、もう1度申し上げるということで機会を作らせていただければと思えます。

### （要望）

どういう災害が起こるか分からない中で、災害を防止するための工事を進めているわけであるが、地域住民の生活の安全のためにも、工事過程において土砂崩れなどが起きないような監視の目が必要である。それは地域住民の目でもあるし、市の目でもあると思う。

今後も、ひたちなか市として強力に監視の目を強めながら、この事業を進めていただきたい。

## 2 高齢者施設の増設について（大成町自治会）

ひたちなか市の65歳以上の人口は3割ということであるが、高齢者問題について市ではどのように取り組んでいるのか。また、今後、施設を増設する予定はあるのか。

### （保健福祉部長回答）

高齢者につきましては、今おっしゃられたとおり、65歳以上の方が大変増えております。そしてさらに、75歳以上の方も増えているということでございます。

本市におきましては、今年の秋頃に三反田地区に特別養護老人ホームがオープンいたします。それから、市内の他の地区でも老人関係の施設がオープンする予定であります。

詳細につきましては、仰っていただければ、ぜひ説明させていただきたいと思っております。保健福祉部あるいは高齢福祉課にお話しいただければ、出前講座などもやらせていただきますので、よろしく願いいたします。

### （市長回答）

おっしゃるように、ひたちなか市は65歳以上が30%ぐらいで県よりは少し低いけれども、これからどんどん65歳以上の方が増えていくという中で、やはり元気で長生きということもありますので、先ほどのつるかめポイントの話や、元気アップ体操、シルバーリハビリ体操とか、皆さんでフレイル予防をしていただいて体が動くようになってもらう、また、集まってお話をさせていただく、こういうような事業はこれからも積極的に進めていこうと思っています。

それから健康診断やいろんな検診はぜひやっていただきたい。2年ぐらい前から始まった事業なんですけれども、検診と介護予防のデータについて、今までは別々に管理をしていたのですが、数年前からひたちなか市が一括して管理をすることになりました。そうすると、検診でいろいろな気になる所見の方にちょっと具合が悪そうだよと助言したり、それから介護とかいろんなものに繋がっていれば、きちんとフォローができていくなというのが分かるんですけども、体の調子が悪いというデータがあるのに、何にも繋がっていないという方々は心配なわけです。

こういった方々にひたちなか市の保健師がアウトリーチで電話をしたり、ご家族にご連絡をさせていただいて状況を聞いて、そして必要な医療機関や介護予防運動に繋げていくという、待っているのではなくてこちらからどんどん出て行って必要なところに繋げていく、こういうような事業も今一生懸命展開しているところです。これをやってきて、もう1つ効果があるなと思っているのは、認知症の早期発見です。私の父も実は認知症を患っていましたが、家族はなかなか指摘ができないんです。お年寄りになってくるとそういうことってあるよねというようなことで、少し見守りしてしまうとどんどん進行していく場合もある。そういった中で専門家が早めに見ると、ちょっと気になる所があると必要な医

療機関にも早めに繋げられる。全部の認知症がということではないですけども、薬もいい薬があって、自分らしい生活を長くすることができるということもありますので、そういったことも含めながら、今、積極的に市の保健師等々が外に出ながら健康で長く生活をしていただくというようなことでやっておりますので、私の方から補足の説明をさせていただきました。どうもありがとうございました。

### 3 高齢化等に伴う東中根団地の諸課題及び再生について（東中根団地自治会）

東中根団地では、高齢化による空き地や空き家問題、独居生活者の問題、東中根団地内の交通量の増加、集会所の老朽化など、様々な課題がある。また、住民の高齢化や若い世代の流出により自治力も低下している。魅力ある住宅団地にするためには、住宅団地の再生が必要で、住宅団地が再生すれば市全体も活性化する。総合計画において、そのような視点も取り入れていただきたい。

#### （市長回答）

ありがとうございます。確かに、ひたちなか市は本当にたくさんの住宅団地があります。東中根団地、富士山団地、西山団地、駒形団地、天神山団地、柏野団地など、昭和30年代に皆さん入ってこられて、このまちを牽引していただき、皆様方に私たちもお世話になっているところであります。ここをどういうふうに再生するかというのは、それぞれ課題がありますので、今すぐになかなかできるということではありませんけれども、そういったシェアも必要だなということでお話承りました。

その中でせつかくの機会なので、空き家対策に関して、今ひたちなか市は全国でも注目をいただきながら進めているところもありますので、空き家に関してお答えさせていただきたいと思います。

#### （市民生活部長）

私の方から空き家の取組状況についてご説明をさせていただきます。

ひたちなか市では、平成28年に空家等対策推進室を設置しました。同時に、条例を制定して、これまで対応に当たっているところでございます。平成28年4月に市が把握していた空き家というのが431戸ございました。今幾つあるかといいますと、令和6年4月1日現在、552戸に増加をしております。

ただ増加しているだけかということではなくて、市としていろんな取り組みをしております。空き家の解消をしてくださいと所有者の方にもお願いしております。

そういった中で令和5年4月1日、519戸あったものが新規で83戸増えました。ただ増えただけではなくて、これまであった50戸については、空き家が解消されたということで4月1日現在552戸というような推移をしているところでございます。どのような取り組みをしているかといいますと、ひたちなか市空家等対策計画というものを作って

おります。その中で、1つ目には発生を抑制しましょう。2つ目には有効活用していきましょう。3つ目には適正な管理がされていない状況を解消していきましょう。この3つの柱を中心に市民の皆様呼びかけをしているというようなことでございます。

発生の抑制につきましては、固定資産税の納税通知書、約6万3000通にチラシを入れて、発生をさせないように皆さんに取り組んでくださいというお願いもしております。それとこれまで空き家の有効活用ということで空き家バンクを進めてまいりました。空き家バンクは令和4年度、5年度の相談件数が53件ありましたけども、空き家バンクとして登録されたのが23件、そのうち18件が成約をして有効活用されているというような状況にあります。

こういったいろんな取り組みをしておりますけども、ひたちなか市は全国的にも先行事例がされているということで、国土交通省の空き家のワーキンググループに職員が参加をしたり、全国的に職員を対象に研修を行う市町村アカデミーが千葉県にありますけれども、そういったところに講師として招へいされて本市の事例を講義しているというような取り組みをしております。

今後も空き家というのは増えていく一方だと思いますけども、多くの市民の方に発生させない解消をしていただきたいということで、呼びかけていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

#### **4 十五郎穴横穴群の今後の動向について（中根自治会）**

今年の2月に中根十五郎穴が国指定史跡に認定されたが、認定後の動きや今後の動きについて伺いたい。また、地域で我々がどういったことを考えて協力していけばいいのか伺いたい。

##### **（教育部長回答）**

中根地区十五郎穴横穴群の国指定をされましたとともに、虎塚古墳国指定の史跡がございます。

そちらにつきましては、基本的には重要な史跡でございますので、保存をするという観点優先であると考えてはおりますが、活用という視点も視野に入れまして、今後、保存活用計画を策定してまいるといような予定でおります。

その中で、史跡保存委員会の方などのご意見などを伺いながら、保存と活用の視点のバランスをとりながら、本年度は計画の策定に向けて現在準備を進めているというところであります。計画策定にあたりましては、地域の皆様のご意見なども伺いながら進めていきたいと考えております。

##### **（市長回答）**

ありがとうございます。私の方からも少し補足をさせていただきます。

虎塚古墳に続いて十五郎穴が国の指定になったということで、7世紀初頭ぐらいからの、古からのいろんな文化遺産がひたちなか市にあるというのは宝でありますし、何といってもこれを次の世代にいい形で残していくということが、やっぱり我々今の世代を生きる人間にとって非常に大切なのではないかと思っています。

そういった中で、十五郎穴に関してはどういうふうに保存していけばいいのかというのは、専門家の中でも意見が分かれているというところもありますので、そのあたりを国指定になったということもありますので、しっかりと計画を立てていくというのがまずステップかなと思っています。

ちなみに、虎塚古墳は春と秋に一般公開をしております。どうして春と秋かをご存じですか。私もこれを聞いてなるほどと思ったのですが、明治大学の教授の皆さん方が穴を開ける時に、まだ穴を開ける前に中の状態、要は空気の温度とか湿度とか全部測っています。それで全部記録して開けたと、それで非常に良い状態で残っているということでありますので、その状態をどういうふうにキープさせるのかという世界最高水準の技術がそこに使われております。一般に開放する時も、自然の状態がちょうどその気温と湿度ぐらいになる時の気候を見計らって、一部開放をしているというところなので、大体、秋と春ぐらいがそのぐらいの気温、湿度になるということです。

ただ多くの人たちがいっぱい入るとやっぱり狭い中なので温度が上がってくる。だから、お昼に一旦お休みをすることで温度が下がってまた見られる。もっとどんどん入れればいいんじゃないかという話もあるんですが、保存を目的にするとやっぱり一部制約をしないと次の世代に残せないというこういうところもあるということが、説明で聞いてなるほどと思ったところです。

ですので、そのバランスをどういうふうにとっていくのかということで、次の世代にしっかりと残せるかどうかということに繋がっていくと思いますので、そういった部分を慎重に計画を立てながら、専門家の意見も聞きながらやっていきたいと思っています。ぜひ地元の方々の意見も聞く機会を作らせていただきますので、よろしく願いいたします。

## 5 道路の補修について（大成町自治会）

普段、バイクに乗っているが、穴があいている危険な道路がたくさんあるため、補修してほしい。橋桁など、同じようなところばかりを補修している印象があり、無駄に工事をやっているのではないか。

### （建設部長回答）

道路の補修につきましては、市内各所でそういったご意見をいただきまして、日々、穴埋め作業とか、場合によっては工事を実施して、安全管理に努めているところではございます。

しかし、確におっしゃられたように、雨の影響などで、どうしても同じ箇所が破損しやすいため、市では合材などで穴埋めなどをして応急措置をとらせてはいただいております。間に合わない部分については継続して補修し、ひどくなった場合には全体的な計画で維持補修をして対応しております。

もしそのような箇所がありましたら、LINEの通報システム等で通報していただければ、対処していきたいと思っておりますのでご理解の方よろしくお願いいたします。

## 6 自治会加入率の促進について（長松自治会）

私は消防第1分団の後援会の会計をやっているが、後援会は各自治会から1世帯あたり100円を集めて消防団にお金を渡す役割を担っている。12自治会分を集めたところ、この1年間で自治会員が全体として1割ぐらい減っており、来年、再来年になると、後援会費が払えないような状態になると思われる。

それに関連して、先ほど市長から海浜公園の方で大きな企業を誘致するというお話があったが、私どもの自治会では旧日立工機の社宅とか駐車場などの空き地を全て、ある民間アパート会社が買い上げて大規模なアパート経営をやろうとしている。大体、規模は200世帯以上になるようである。そうすると、私どもの自治会の世帯数が1,000をちょっと割り、全体の2割3割の世帯数がそういうアパートの住民になるということで、先日、市民活動課の課長さんたちと一緒に民間アパートと打ち合わせをした。私どもの要求としては、自治会費を毎月200円徴収していただきたいということを柱にして交渉しているが、企業側から見ると、住民の意思に従うしかなく、強制的に1人毎月200円というわけにいかないというような話があった。私どもの経験としては閉鎖的なアパートは自主的に自治会に入ってる人は非常に少なく、初めは入っていてもほとんど抜けてしまうことが多い。

そこで、市が誘致してる有力な企業などと話をして、自治会に加入するように働きかけてほしい。

### （市民生活部長回答）

今お話しがありました業者さんとの打ち合わせの件については報告を受けております。この前の打ち合わせの中では、いい方向で1度業者が受けて、自治会にお渡しすることも可能ですよというような提案があったというふうに受け止めております。自治会の加入率が落ちているというのは全国的な話でありまして、ひたちなか市も自治会の加入率は今50%ほどです。担い手不足、若い世代・子育て世帯の加入促進、それと高齢者の脱会の防止というのが、やはり重要なのかなというふうに思っております。

市としては自治会連合会と協力、連携をしまして、令和5年度に若者世帯を対象に加入促進の動画を3本作っております。それに合わせてチラシも作っておりますので、こういったものを使いながら、加入促進をそれぞれの地域で図っていただきたいというのが1つ取り組んでいるというような状況です。

もう1つ、自治会を維持していくために、行政からのお願い事を減らしていきましようということで、令和4年から自治会さんをお願いしている事業内容を全庁的に見直しております。昨年でいいますと、これまでお願いしていた件数は全庁的に10件、いろんなチラシをまいてくださいとか、こういった協力をしてくださいという取り組みを10件減らしてまいりました。

これからも減らせるものは減らして、完結できるものは完結して、自治会とともに一緒にやっていきたいと思っております。あわせて、この自治会加入促進というのも一緒にやらせていただきますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

### (市長回答)

私の方からも補足をさせていただきます。ひたちなか市もこの春から定年が1歳ずつ伸びて65歳になって、企業は大体65歳までということで、どんどん伸びているという中で、働きながら地域に人材を出していただきたいという話を特に大きな会社の総務部長には事あるごとにお伝えをしているところです。

やはりある程度の年齢になった時に、地域に働きながら貢献していただく。それがまた会社にとっても良い働き方になる。こういうような循環を一緒に作らせていただきたいというようなことで、企業で働きながら人材を認めてもらうような働き方、こういったものを私の方からもお願いしてるところです。

それと、この市政懇談会もそうなんですが、いろんなところで若い人たちとお話をする、私は移り住んできてこういうことが不自由なので市で何とかありませんかという話が結構あるんですけども、意外とそこを自治会が担っていただいているところが多いところがあるんです。ですので、皆さん方そういうことを言うけれども、個人である自助、行政である公助、個人でできないこと全部が公助ではもうやれないですので、皆さんがまちづくりの中でそれぞれできることをやっていただくという、共助の部分が非常に重要になってきます。

そういった中で、自治会の活動というのが、そういうふうに皆さん方の生活に非常に密接に関係をしているので、我々はやはり皆さんに自治会に入っていただいて、一緒にまちづくりをしていくということをお願いしたいということを中心としていろんなところでお話をさせていただいております。非常に忙しくされているし、難しいところもあるとは思いますが、やはり地域の一員として、一定の役割を担っていくということが、やっぱり中長期的なまちづくりにおいて非常に大切なんだということを私も言っていきたいなと思っております。ぜひ自治会長さんの皆さん方も大変だと思いますけれども、共助の部分を作っていくために、一緒に努力をしていただければと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

### (要望)

来週、第2回の打ち合わせをやる予定である。今後も市のバックアップをよろしく願いたい。

## 7 自治会加入率の促進について（一中地区地域のふれあいを広める会）

全国いたるところで、自治会はどうなるのか、行く行くは消滅していくのかといった話があるが、この問題に対しては、市民活動課の皆さんが大変よくやってくれていると思っている。転入してきた方には自治会になかなか入ってもらえないため、市の各窓口において、例えば建築指導課では建築確認申請を出してきた時に自治会加入を促したり、市民課などでも加入促進するために宣伝するなど、水際作戦を行っている。

アパート入居者の自治会加入については難しいが、自治会としてはアパート入居者も巻き込めるような方向で進めていければと思っている。また、先ほどの長松自治会の話の関連になるが、自治会関係の研修で会津若松市に行った時に会津若松市は自治会の加入率が95%で、市が宅建協会と協定を結んでいることを知り非常に驚いた。

今後も、相互扶助、自治会を維持していくために、これからも水際作戦を提唱したいと考えているので、よろしく願いたい。

### （市民生活部長回答）

一言回答させていただきたいと思っておりますけれども、この前研修行かれまして、これからそういった事例を参考に市として何ができるのかというのを本当に考えていきたい。

会長がおっしゃったとおり、建築業者、宅建協会、こういったところとの協定を結ぶという1つの事例もありますので、そういったものが本市として、どうやってできるのかということも検証をしていきたいと考えております。

今年、ひたちなか市で何を取り組んでいるか1つご紹介をさせていただきたいと思えます。まちづくり基本条例が平成22年の4月に制定されてから14、15年経ちますけれども、市民の方にもっと理解を深めていただきたいなという思いから、今、基本条例の手引き書というものを作っております。

昔、条例を作ったときに逐条解説というものを職員向けに作りましたが、それを基に市民の皆様にも民主役のまちづくりというものはどういうものかというのをもう1度理解を深めていただくということで、手引き書を作っております。

今年度になろうかと思っておりますけれども、先ほど市長の方からも話がありました8月のキックオフイベントにご協力いただきます東京都立大学の杉先生にご教授いただきながら作っていき今取り組んでおりますので、作成しましたら、広く皆様にお示しをしていきたいというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 8 自治会加入率の促進について（青葉・石川自治会）

先ほど他の会長さんから、アパートの今後について、自治会に入るかどうかといった話があったが、私の方の現実的な話をすると、アパートは出入りが激しいので自治会に入るとはまずないと思う。それから、マンションの場合だと事前に言うておくってくれる管理組合もあるが、自治会に関しては最近、敬老会なども市から記念品が送られてくるなど、行事なども簡素化されているため、自治会に入るメリットが薄れているように感じるのが現実だと思う。

先日、自治会の役員会の前に、AIで自治会のメリットとデメリットについて聞いたところ、メリットがたくさんあった中で一番分かったことは、住民の意見が反映しやすい、市に会長として反映しやすい。2つ目は、地域のコミュニケーションが取りやすい。一方、デメリットに関しては、ごみが出しづらい、ごみが出せない。それから、役員会などに参加するために時間的に束縛をされるということだった。デメリットに関しては、ごみは結果的に出していますから関係ないし、役員会というのは別に参加しなくても強制ではないため、大した問題ではない。

それから自治会は強制などところではないので、もう少し時代に合ったシステムに変更して、自治会に入っていたら楽しい、メリットがあるということが分かるような自治会運営を自治会で検討する必要性もあるし、一方、市の方ではメリットを強調するようなアピールをどんどんしてほしい。

#### **(市民生活部長回答)**

ご意見ありがとうございました。

自治会の方には、主に防犯防災、そして子ども、高齢者の見守り等を担っていただいていると思っております。

やはりこういった自治会の活動がなければ、本当に地域は発展していかないというふうに思っております。会長のおっしゃるとおり、自治会に加入している、活動しているこのメリットというのを行政としても広くアピールをしていきたいというふうに考えておりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

### (市長のまとめ)

長時間にわたりまして、活発なご議論をいただきましてありがとうございます。

私、最初に1問目が終わったら2問目も受け付けますよというお話をしたのですが、1順で終わってしまいました。それだけ多くの方々にご意見をいただいたのかなというふうに思っております。感謝を申し上げます。

全体としては、やはり日本全国、人口減少・少子化という波がありまして、ひたちなか市もやはりそれに影響を受けております。

全国で一番子どもが生まれた年は、昭和24年で269万人の方が生まれていると記憶しています。次に、多く生まれているのが、私の生まれた年、昭和48年で210万人生まれています。昨年、生まれた子どもは72万人ということでもありますので、私今51歳です。50年間で純粋に日本人として出生した人というのは3分の1になっていくというのは、これはもう確定した事実なのかなというふうに思っております。

こういった中で、このスピードに合わせながら、このまちをまた次の世代に対してしっかりと整えていく、そのためにやらなければいけないことがたくさんあるだろうということで今努力をしているところです。そういった中で、ひたちなか市は何とかその減っていくスピードを遅くする、減っていく減り幅を少なくするというようなことで、職住育という、職というのは職場で働く環境のバリエーションを増やしていく、それから生活する中で生活基盤をしっかりと整えていく、防災に強い雨水幹線の整備もしていく。それから育児の育を象徴的に当てていますけれども、これは育児もそうですけれども、高齢者の福祉も含めて、お年寄りから幼いお子さんまで切れ目なく福祉サービスをとにかくバランスよく整えていく、職住育、そういったもののバランスを取ったまちづくりというのを今進めているところでございます。そういった中で全然チャンスとして、企業の誘致があってそこにはしっかりと投資をしいかなければならないと思っております。

一方で、集約をしていったりとか、本当に住民の皆様方には大変心苦しいところもあるのですが、一定の役割を終えたようなサービスであったりとか、そういったものに関してはやめて違うところに財源を回していったり、そういうようなこともやっているようなところでございます。

何といても、そういった中でスピード感を持ってやるということは重要ですが、やはり地域をしっかりと受け止めながら、それでもやはりある程度のご理解をいただきながら進めていくということが、やはりこの地域の輪、それから地域の絆をつくるという意味では大切なことなのかなというふうに思っております。

これからも積極的にいろんな事業をやっていくわけでありましてけれども、こういった機会、またそれ以外の機会も含めて我々しっかりと皆様の声も受け止めながら、また、我々がどういう視野でまちづくりの判断をしているのかということもぜひ聞いていただきながら、住民の皆さんとの橋渡しのような形もお願いしながら、やっていっていただければありがたいなと考えているところでございます。

ここ今年度最初のスタートとしての一中地区のこの懇談会が、こうして本当に多くの皆さん方の意見を聞いたことに改めて感謝を申し上げながら、今年度、今日ここにいるメンバーが市の幹部のメンバーです。

今、受け答えをしたメンバーだけではなく、もっと幅広い中で、関連することを想像しながら、多分それぞれの幹部は話を聞いてきたのではないかなと思っておりますので、そういったことも含めて、皆さんと一緒にまた進めていきたいというふうに思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年度は、このようなメンバーでやっていきますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。市長としてのまとめの挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。